

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年10月1日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【2号機原子炉格納容器ガス管理設備の放熱器フィン欠落について】 2号機原子炉格納容器ガス管理設備の放熱器修理工事において、塩害等により腐食した放熱器のフィンの一部が清掃中に欠落。 放熱器フィンの一部が欠落したが放熱器の運転は可能であり、2号機原子炉格納容器ガス管理設備の系統に影響はない。	G II
2	【雑固体廃棄物焼却設備の廃油焼却設備着火不良について】 雑固体廃棄物焼却設備(B)運転中、廃油焼却開始時に廃油に着火しないことを確認。 通常の雑固体廃棄物焼却運転に支障はない。	G III
3	【フランジタンク除染設備加工室の出口スライド扉のワイヤ脱落について】 フランジタンク除染設備加工室の出口スライド扉の閉操作を実施したところ、スライド扉が傾き吊り上げ用ワイヤが脱落。 スライド扉ストップ位置ずれにより扉が傾いた。扉の水平調整を実施し復旧。	G III